新潟県特別支援教育研究会の歩み

年度		主 な 歩 み		会長（敬称略）	事務局
昭和	28	会の設立。 会報1号がガリ版刷りで誕生。		坂口　謙次郎	舟栄中学校
	29	指導者講習会が始まる。			沼垂小学校
	32	「特殊教育の手引き」第1集発行。	特殊教育の手引き・障害児教育の手引き 発行	池田　恵司	舟栄中学校
	34	上・中・下越の3地区による研究大会を定例化。 県育成会の設立。			
	38	文部省主催「指導者講座」に協力参加。		松浦　雅公	沼垂小学校
	40	第1回振興大会開催。		木村　武	舟栄中学校
	41	規約改正により、特殊教育全般を対象とする。		渡部　忠一	万代小学校
	42	「振興大会」から「研究大会」に改称。		根津　康夫	礎小学校
	46	第 10 回全国大会新潟大会開催。		伏木　弘	
	47	創設20周年記念式典開催。			
	50	第4回全国言難教育全国大会新潟大会を開催。		竹内　葆	
	51	第 10 回関ブロ新潟大会を開催。			
	53	特殊教育百周年記念大会（西蒲・吉田小）を開催。		関谷　栄太郎	
	55	第 13 回全国情緒障害教育新潟大会開催。			
	57	第1回新潟県就学啓発会議。		近藤　健	
	58	養護学校義務制完全実施。			
	61	第 20 回関ブロ新潟大会開催。 第 23 回関ブロ病虚弱教育研究協議会開催。 北陸地区聾教育研究大会開催。			
平成	2	全特連発達障害セミナー新潟大会開催。		横見　雅之	
	3	全特連発達障害セミナー新潟大会開催。 （2年連続）		遠間　保	
	5	「通級による指導」が法制化される。		原田　熹之作	
	9	第 30 回関ブロ新潟大会開催。 全国特殊学級設置学校長会開催。		野俣　正樹	
	10	特殊教育百二十周年記念式典（東京）。		青木　央	鏡淵小学校
	11	全特連結成 50 周年記念大会（東京）。		大滝　雅浩	
	14	就学基準の弾力化が法的に実施される。			
	17	「新潟県特別支援教育研究会」に改称。		松原　誠	
	18	第 45 回全国大会新潟大会開催。			

	19	特別支援教育が本格実施される。	吉田　俊雄	鏡淵小学校
	21	会報100号記念発行。		
	22	鏡淵小学校に会長が移る。	毛利　隆二	
	24	特別支援学校センター的機能調査（貸出可能物品）。		
	25	特別支援学校センター的機能調査（期待する機能）。		
	26	第 50 回関ブロ新潟大会に向けて実行委員会を発足。	渡辺　徹	
	27	関ブロ新潟大会拡大実行委員会発足。新潟大会テーマ「一人一人の教育的ニーズに応える特別支援教育の推進」。		
	28	「障害者差別解消法」の施行。 第50回関ブロ新潟大会開催。		
令和	元	本会，視聴覚障害部の新設。 コロナ禍により，理事・評議会の書面開催を実施。 全特連発達障害セミナー新潟大会中止。 その他，研究部研修会，地区大会中止。 会報等を活用し，情報の共有及び研修推進を図る。	江口　滋	
	2	会の運営及び各種研修のオンライン化を推進。 ZOOM ライセンスの取得及び ICT 環境の整備を行う。		
	3	コロナ禍により，理事・評議員会を紙面決議で行う。 全特連全国大会・関ブロ大会を紙面開催で行う。		
	4	理事・評議員会をオンラインによる協議・決議を行う。 生徒指導提要の改訂。		
	5	理事・評議員会を対面・ハイブリッド形式による協議・決議を行う。 全国大会新潟大会の準備会を設置。		
	6	理事・評議員会をオンラインによる協議・決議を行う。	後藤　和広	